

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあげめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

アーメン

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会ったイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しき、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3
電話/FAX: 0225-22-4090
ホームページ: <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>
メール: i-eikou@tohoku.uccj.jp
振替口座: 02280-8-2810
教会創立: 1887年9月25日

集会案内

聖日礼拝	毎週日曜日	午前10:30
早朝礼拝	毎週日曜日	午前7:30
交わりの会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後7:30

2026年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2530		2026年7月5日	
礼拝順序			
		受付 司会 献金 奏楽	礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
前奏			
招きの言葉	[9] ガラテヤの信徒への手紙第3章28節	司会者	
讃美歌	32	一同	
子どもたちへのお話 あるいは 悔い改めの黙祷			
讃美歌	56 (3節)	一同	
聖書	エフェソ書2章8節		(新約聖書353ページ)
祈り		司会者	
讃美歌	486番 (1-2節)	一同	
お話し	「あなたの方力ではなく」		川上直哉 牧師
讃美歌	486番 (3-5節)	一同	
献金		一同	
報告		司会者	
讃美歌	90 (1節)	一同	
祝福の祈り			
後奏			
*当教会では 着席のまま礼拝を守っています。 *旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。 *献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。			
∞〇∞〇∞〇∞〇∞ おしらせ ∞〇∞〇∞〇∞〇∞			
先週、日本基督教団創立記念礼拝を石巻山城町教会と共に 守ることができました。山城町教会の祝福の為に、 心を合わせて祈り続けましょう。			

∞∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞∞

☆「初心に帰ってマルコ福音書を読む」7月7日(火)10:30～ オンライン併用

☆「御言葉と祈りの時」7月8日(水)19:30～ オンライン配信

∞∞∞ 次週の予告 (7/12) ∞∞∞

☆ 主日礼拝 (お話：川上直哉 牧師)

[聖 書]	イザヤ書43章1節		
[お 話]	「あなたの名を」		
[讃 美 歌]	34 57 472 90	[招きの言葉]	38
受 付	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。		
奏 楽			

∞〇∞〇∞〇∞〇∞ お知らせ ∞〇∞〇∞〇∞〇∞

✦今後の予定は以下の通りです

- ・7月5日(日) 日本基督教団柴宿教会にて礼拝(14時半～)
- ・7月20日(月・祝) 北地区信徒交流会(石巻山城町教会にて)
- ・8月2日(日) 10時半からの礼拝を中澤宣教師が担当
この日、川上牧師は日本基督教団代田教会で礼拝奉仕。
午後に同教会にて講師を務めます。講演会はオンラインで配信されます。

《 先週の集会統計 》			
聖日礼拝	5人	み言葉と祈りの会	6人
早朝礼拝	2人	聖餐式	5人
月 定 献 金		特 別 献 金	
		阿部雄悦・大和田陽子 (感謝)	
席上献金	¥14,010		

週報別冊

2026年7月5日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【日本基督教団石巻栄光教会関係】

- 「お葉書」(日本基督教団愛知教会)：「教会の外にいるクリスチャンと出会い、つながり、仕えることができますように」「少人数で礼拝を続けている教会と心を合わせ、共に祈り続けることができますように」と、石巻栄光教会を覚えて祈ってくださったことの連絡を頂きました。
- 「クリスチャン新聞」(いのちのことば社)：「いのちに向き合う」と題して川上牧師のインタビューが掲載されています。
- 「3.11 震災復興販売支援活動終了のお知らせ」(シャローム・ノア)：大林さんが立ち上げた新しい活動が、昨年度決算を受け、新年度から新しい体制で進むこととした旨の連絡を頂きました。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「教団新報」(日本基督教団)：カトリック玉造教会で行われた大坂教区総会の様子等を記す「教区総会報告」等が掲載されています。
- 「牧師就任式のご案内」(日本基督教団五橋教会)：村島義也牧師を主任担任教師に迎える就任式を、7月19日(日)午後2時から、荒井偉作 東北教区総会議長の司式で行う事の連絡を頂きました。
- 「白井真牧師就任式のご案内」(日本基督教団保原教会)：日本基督教団福島伊達教会牧師の白井先生が兼務主任担任教師として保原教会に着任する就任式を、7月26日(日)午後1時から、瀬谷寛 東北教区総会副議長の司式で行われることの連絡を頂きました。
- 「春季献金のお願い」「後援会通信」(関西学院大学神学部)：日本基督教団のメソジスト系神学校からの通信を頂きました。

【その他団体・教会関係】

- 「感謝のニュースレター」(気仙沼第一聖書バプテスマ教会)：中澤先生が主宰される「実践宣証会議」の参加メンバーである気仙沼の教会から、この15年間の感謝を記したパンフレットを頂きました。

- 「English Kids Camp 2026」(4フレンズネットワーク)：登米市佐沼にある教会で、中澤先生が主宰される「実践宣証会議」参加メンバーの教会から、台湾系米国人ボランティアの支援を受けて7月に行う国際交流プログラムのチラシを頂きました。
- 「CMIM NEWS」(マイリティ宣教センター)：和人の北海道への関わりの歴史を振り返る「北海道で生まれ育った者として」(日本キリスト教会北海道中会議長 森下和彦さん)等が掲載されています。
- 「FEBC 1566」(キリスト教放送局 FEBC)：「隣人を愛すること、まことの自分自身を見つけ出す」と記す「相棒と共に脱出せよ！」(日本正教会大阪ハリストス正教会管轄司祭 ゲオルギイ 松島雄一さん)等が掲載されています。

2. 牧師動静

6月29日(月)

日中、大河原教会で行われる教区教師研修会に出席し、夜、NPO法人「東北ヘルプ」総会をオンラインで主宰しました。

6月30日(火)

午前中、「初心に帰ってルカ福音書を読む」を主宰し、午後、中澤先生が主宰する「実践宣証会議」に出席し、夜、合唱団「コロ支倉」の練習を日本基督教団仙台宮城野教会で行いました。

7月1日(水)

午前中、宮城刑務所で教誨活動をし、夜、祈祷会を主宰しました。

7月2日(木)

午前中、一件の訪問をして「大人の教会学校」と聖餐式を主宰し、午後、福島県キリスト教連絡会「放射能問題学習会」にオンラインで参加し、夜、本田哲郎『釜ヶ崎と福音』読書会を主宰しました。

7月3日(金)

午前中、エマオで教区教誨師会に出席し、午後、仙台 YMCA 総主事選考委員会に出席し、夜、仙台でワイズメンズクラブの会合に参加しました。

7月4日(土)

午前中、立正佼成会仙台教会にて講演をし、午後、仙台白百合女子大学カトリック研究所の記念行事に出席しました。

- 日日、多くの活動が守られ支えられています。皆様のお祈りに、心からの感謝を覚えています。

7月6日(月)

午前中、一件の訪問をし、午後、休暇を頂きます。

7月7日(火)

午前中、「初心に帰ってマルコ福音書を読む」を主宰し、午後、休暇を頂き、夜、合唱団の練習を日本基督教団仙台宮城野教会で行います。

7月8日(水)

日中、気仙沼の小野寺牧師と福祉施設を訪問し、夜、祈祷会を主宰します。

7月9日(木)

午前中、一件の訪問をして「大人の教会学校」と聖餐式を主宰し、午後、休暇を頂きます。

7月10日(金)

午前中、雄勝ローズファクトリーガーデンを訪問し、午後、教会で執務し、夜、多文化共生国際墓苑の会議にオンラインで出席します。

7月11日(土)

日中、みちのく潮風トレイルを歩いています。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。日程を調整して、お会いしたく存じます。



そして大切なのはここからです。私たちは隣人を愛すること、まことの自分自身を見つげ出すんです。いいですか、愛は身勝手なお節介や、感傷の押しつけなどではありません。それは隣人の本当の必要を見つげ出すことです。自分の時間と存在を惜しみなく与えること。そのためには隣人の思いの最も深いところへ、私達の心の眼差しを届かせなければなりません。

そしてこの時に、私達は初めて、道を見失い、闇の中でもがき、手探りし続けている自分自身を見つける。隣人の心の一番深い場所で、渴いて、神様を探し求めてやまず、それ故神のもっとで初めて本当の喜びを手に入れることができる自分自身と隣人、そう同じ「人」を見つげ出すのです。

だから、もはや隣人を愛することは道徳ではありません。なってしまう。いいですか、キリスト教を道徳だと思っちゃいけませんよ。キリスト教は神様の喜びなんです。



この神との交わりの中で、自分と隣人と共に、神を愛する喜びへと身を翻してゆく。これはひとつの大冒険です。だから隣人はその大冒険の相棒となる！

そこからゆっくりではあっても確実な脱出が始まります。「愛せない」自分への嫌悪からの脱出が。そこで人はまことの意味での自分への愛を見つげ出すのです。

(文責・月刊誌編集部)